

**宮崎市のまちづくりに関する市民意識調査
評価・分析報告書**

<要約版>

平成 24 年 4 月

宮 崎 市

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

平成 20 年 3 月に策定した「第四次宮崎市総合計画」に基づき進めている現在の市政運営について、適正な進行管理を行うとともに、継続的な改善を図りより市民の満足度の高い市政運営を行うため、基本目標等に関する市民の評価や意見を把握することを目的として、本アンケート調査を実施しました。

なお、本調査結果の分析にあたっては、市政運営に対する市民の満足度を経年的に把握する必要があるため、一部調査結果については、本調査と同条件で実施した「宮崎市総合計画策定に係る市民意識調査」（平成 18 年 10 月）及び「宮崎市のまちづくりに関する市民意識調査」（平成 21 年 9 月）の結果との比較分析を行っています。

この調査は市政全般の取り組みにおける市民意識を調査したものであり、固有の行政サービスに対する評価を目的に行ったものではありませんので、市政運営に関する参考資料として取り扱ってください。

(2) 調査の概要

調査期間	平成 23 年 8 月 2 日（火）～8 月 19 日（金） ※締め切り後、一定期間は回収を行った。
調査方法	郵送配布・回収
調査対象	宮崎市に在住する 18 歳以上の住民 3,000 人
配布・回収数	有効回答者数 753 人
有効回答率	25.1%

2. 調査結果

あなた自身のことについておたずねします

(1) 性別

回答者はやや女性が多い

アンケート回答者の性別は、

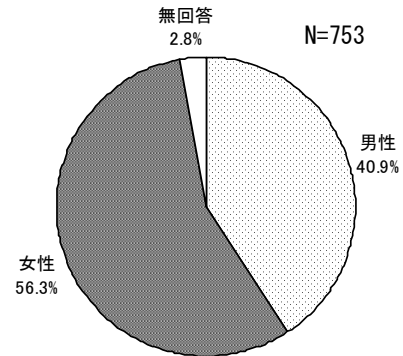
男性 (40.9%)

女性 (56.3%)

となっています。

総人口比でも、女性のほうが若干多くなっていることから、概ね人口比に即した結果といえます。

問1. あなたの性別は。(1つに○)



(2) 年齢

60代を中心に50歳以上が半数以上を占めている

アンケート回答者の年齢は、

19歳代以下が1.7%

20歳代 (5.3%)

30歳代 (12.9%)

40歳代 (15.0%)

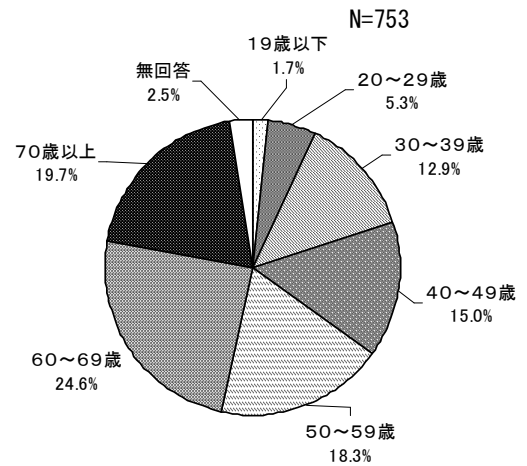
50歳代 (18.3%)

60歳代 (24.6%)

70歳以上 (19.7%)

となっており、50歳代以上で半数以上を占めています。

問2. あなたの年齢は。(1つに○)



(3) 居住地区

旧宮崎市地区が7割以上を占めている

アンケート回答者の居住地区は、

旧宮崎市地区 (78.8%)

旧佐土原町地区 (7.2%)

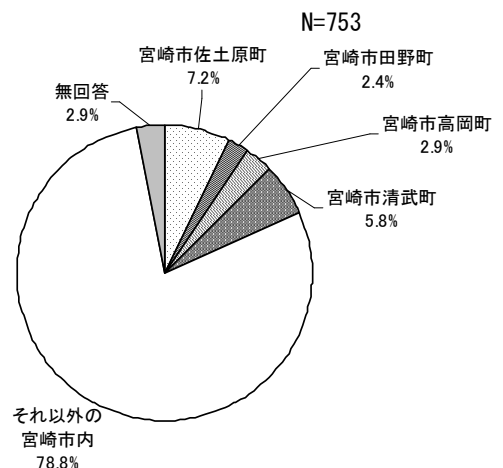
旧田野町地区 (2.4%)

旧高岡町地区 (2.9%)

旧清武町地区 (5.8%)

となっています。

問3. あなたのお住まいは。(1つに○)



宮崎市の現状と今後の取り組みについておたずねします

(4) まちづくりの取り組みについて

①現在の満足度

満足度では「安全な水道水の供給」が最も高く、また、「高速道路や国道、県道など幹線道路の整備」、「にぎわいある中心市街地の整備」における不満度が高くなっている。

アンケート回答者全体でみた宮崎市のまちづくりの取り組みの現状について、「満足している」とする割合の高い取り組み上位は次の通りです。

- ・ 38. 安全な水道水の供給 (24.7%)
- ・ 94. 図書館の充実 (17.9%)
- ・ 39. 水道事業の効率的運営 (12.2%)

また、「満足している」+「やや満足している」の割合が過半数を超えるものは全 110 項目のうち 6 項目しかなく、その割合が高い取り組み上位は次の通りです。

- ・ 38. 安全な水道水の供給 (65.2%)
- ・ 94. 図書館の充実 (59.0%)
- ・ 56. 健康診断等の保健サービス (54.8%)

対して、「不満である」とする割合の高い取り組み上位は

- ・ 87. 高速道路や国道、県道など幹線道路の整備 (36.7%)
- ・ 80. 就労環境の向上 (34.5%)
- ・ 90. 雇用機会の創出 (32.3%)

であり、交通や雇用・就労環境 に対する不満が高くなっています。

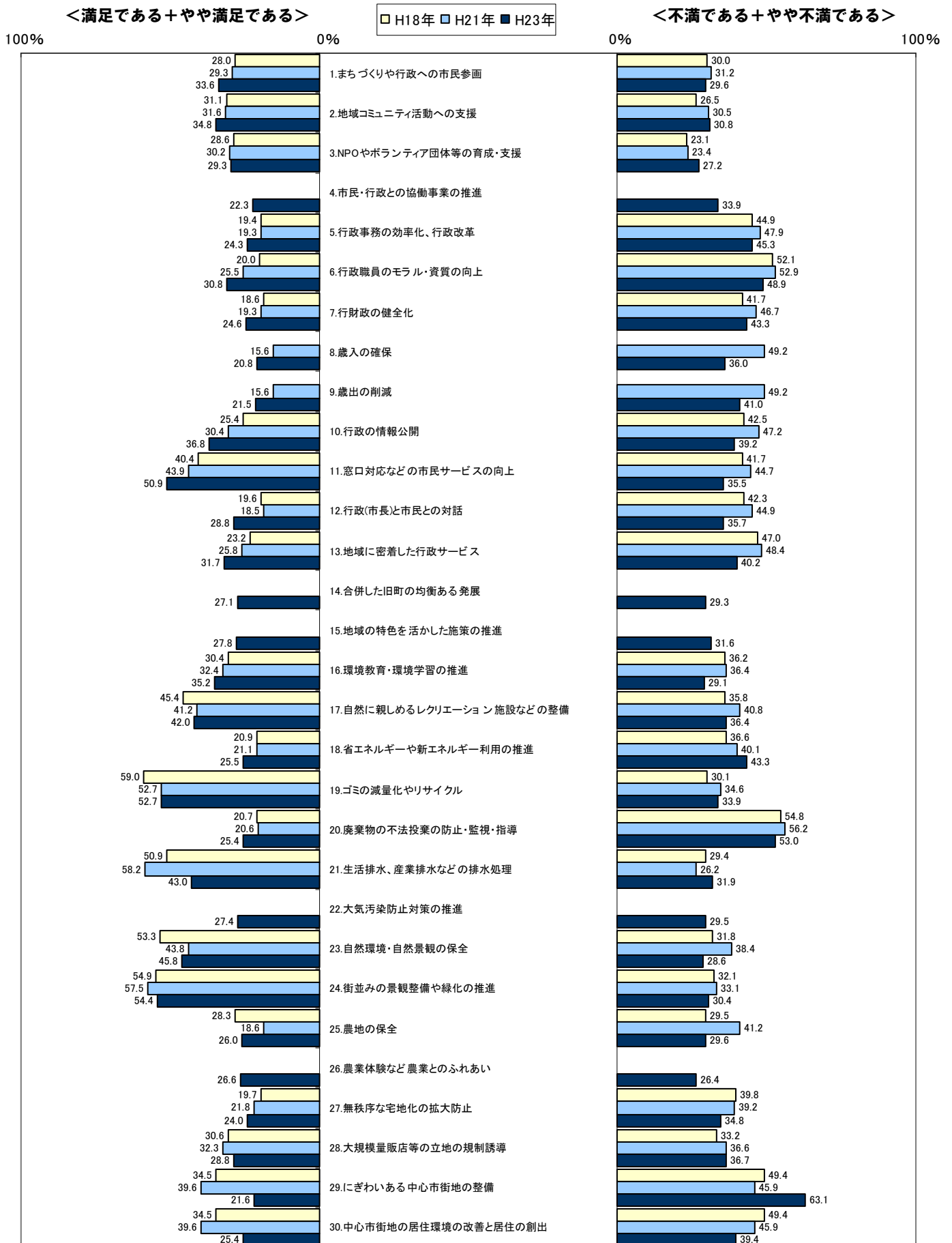
また、「不満である」+「やや不満である」の割合が高い取り組み上位は次の通りです。

- ・ 29. にぎわいある中心市街地の整備 (63.1%)
- ・ 88. 就労環境の向上 (61.6%)
- ・ 87. 高速道路や国道、県道など幹線道路の整備 (60.6%)

さらに、施策分野別でみた「不満である」+「やや不満である」の割合の最も高い取り組みは次の通りです。

[市民が主体の住民自治のまち]	4. 市民・行政との協働事業の推進(33.9%)
[効率的で信頼される行政経営]	6. 行政職員のモラル・資質の向上(48.9%)
[自然環境や景観を大切にしているまち]	20. 廃棄物の不法投棄の防止・監視・指導(53.0%)
[都市の機能が充実しているまち]	29. にぎわいある中心市街地の整備(63.1%)
[生活を支える基盤が整っているまち]	36. 高齢者などが移動しやすい環境の整備(バリアフリー)(52.3%)
[ともに支え合って暮らしているまち]	53. 健康保険や年金の充実(52.7%)
[健康に暮らせるまち]	57. 医療体制・施設の充実(39.2%)
[災害に強いまち]	63. 防災意識の向上(36.7%)
[生活の安全が守られているまち]	70. 歩道・ガードレール設置等の交通安全対策(42.1%)
[宮崎の特色を活かした産業のあるまち]	78. 観光資源を活かした観光拠点整備(41.2%)
[活力ある商工業が育つまち]	87. 高速道路や国道、県道など幹線道路の整備(60.6%)
[働きやすく働きがいのあるまち]	88. 就労環境の向上(61.6%)
[未来を担う人を育てるまち]	96. 地域での子ども居場所づくり(41.3%)
[生きがいを持って学び楽しめるまち]	101. 地域の祭りなど伝統文化の継承(27.2%)
[思いやりのあるまち]	106. 男女共同参画社会づくりのための啓発(24.3%)

②平成 18 年調査～平成 23 年調査における満足度の経年変化



<満足である+やや満足である>

□ H18年 □ H21年 ■ H23年

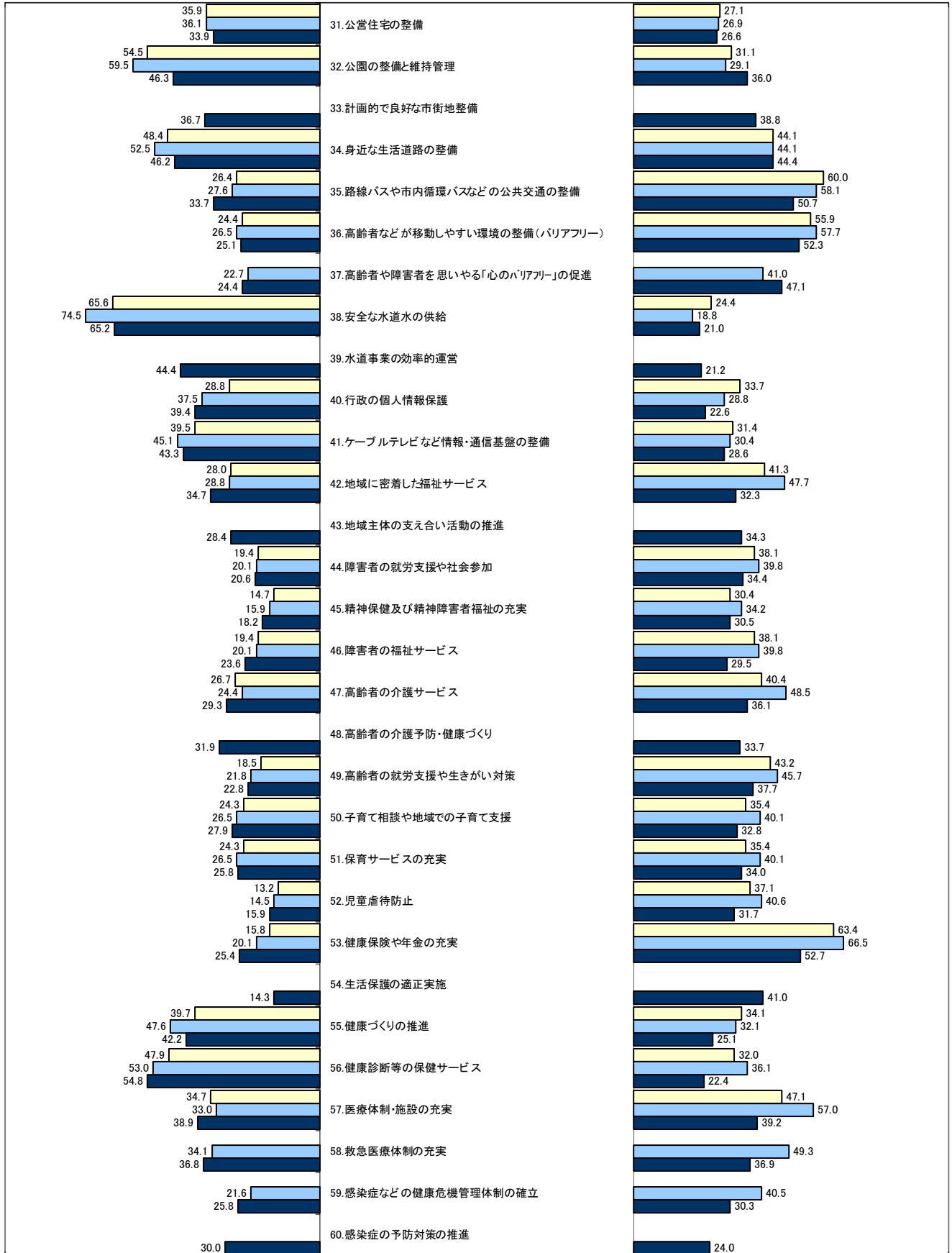
<不満である+やや不満である>

100%

0%

0%

100%



<満足である+やや満足である>

□ H18年 □ H21年 ■ H23年

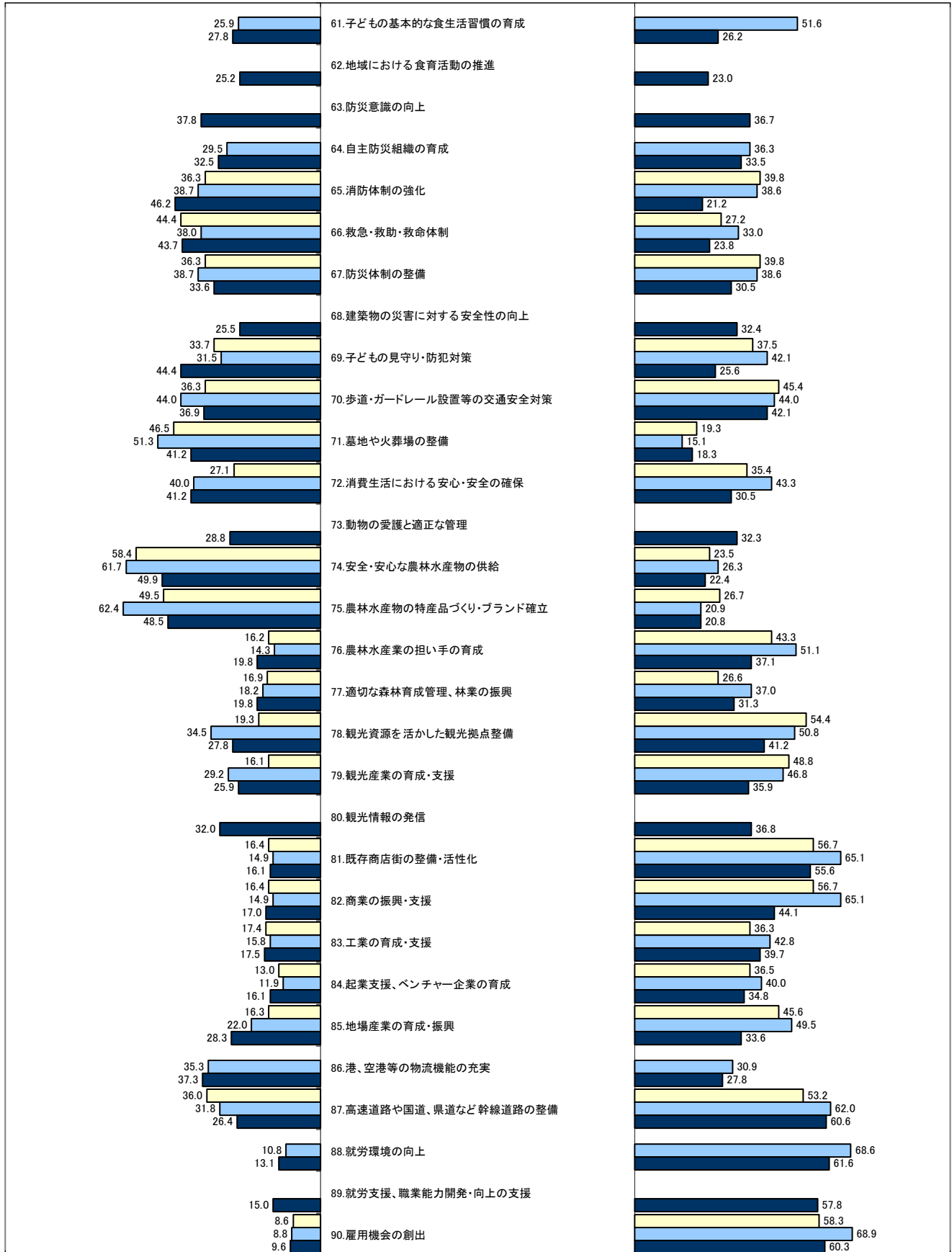
<不満である+やや不満である>

100%

0%

0%

100%



<満足である+やや満足である>

<不満である+やや不満である>

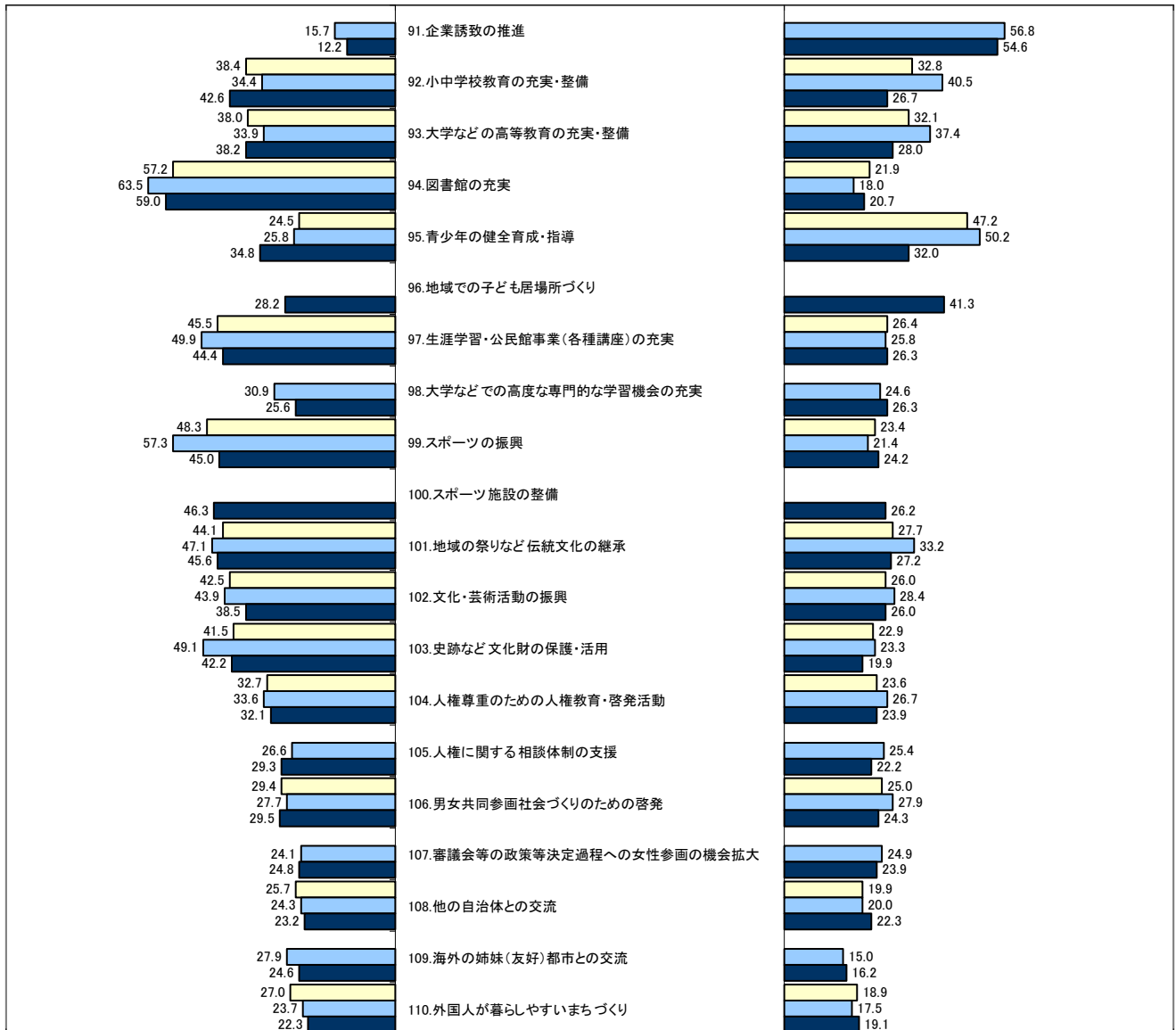
100%

0%

□ H18年 □ H21年 ■ H23年

0%

100%



③満足度の点数化

満足度を点数化した順位は次の通りであり、満足度の高い取り組み上位及びその満足度は次の通りです。

- ・ 38. 安全な水道水の供給 (2.96)
- ・ 94. 図書館の充実 (2.89)
- ・ 56. 健康診断等の保健サービス (2.77)

また、満足度の低い取り組み下位及びその満足度は次のとおりです。

- ・ 90. 雇用機会の創出 (1.69)
- ・ 88. 就労環境の向上 (1.74)
- ・ 91. 企業誘致の推進 (1.82)

生活環境に関する項目では、満足度が高くなっている一方で、雇用環境や就労機会などの産業の振興での不安がうかがえます。

順位	取り組み	満足度
1	38. 安全な水道水の供給	2.96
2	94. 図書館の充実	2.89
3	56. 健康診断等の保健サービス	2.77
4	71. 墓地や火葬場の整備	2.76
5	39. 水道事業の効率的運営	2.76
6	74. 安全・安心な農林水産物の供給	2.75
7	75. 農林水産物の特産品づくり・ブランド確立	2.74
8	103. 史跡など文化財の保護・活用	2.73
9	65. 消防体制の強化	2.72
10	66. 救急・救助・救命体制	2.68
11	99. スポーツの振興	2.66
12	40. 行政の個人情報保護	2.65
13	69. 子どもの見守り・防犯対策	2.65
14	100. スポーツ施設の整備	2.65
15	24. 街並みの景観整備や緑化の推進	2.65
16	101. 地域の祭りなど伝統文化の継承	2.63
17	97. 生涯学習・公民館事業（各種講座）の充実	2.63
18	19. ゴミの減量化やりサイクル	2.62
19	23. 自然環境・自然景観の保全	2.61
20	55. 健康づくりの推進	2.61
21	92. 小中学校教育の充実・整備	2.60
22	41. ケーブルテレビなど情報・通信基盤の整備	2.60
23	11. 窓口対応などの市民サービスの向上	2.58
24	102. 文化・芸術活動の振興	2.57
25	104. 人権尊重のための人権教育・啓発活動	2.55
26	21. 生活排水、産業排水などの排水処理	2.54
27	109. 海外の姉妹（友好）都市との交流	2.54
28	93. 大学などの高等教育の充実・整備	2.54
29	32. 公園の整備と維持管理	2.52
30	106. 男女共同参画社会づくりのための啓発	2.52
31	105. 人権に関する相談体制の支援	2.52
32	60. 感染症の予防対策の推進	2.52
33	72. 消費生活における安心・安全の確保	2.51
34	86. 港、空港等の物流機能の充実	2.50
35	16. 環境教育・環境学習の推進	2.50
36	1. まちづくりや行政への市民参画	2.49
37	110. 外国人が暮らしやすいまちづくり	2.49
38	31. 公営住宅の整備	2.49
39	95. 青少年の健全育成・指導	2.48
40	3. NPOやボランティア団体等の育成・支援	2.48
41	108. 他の自治体との交流	2.48
42	107. 審議会等の政策等決定過程への女性参画の機会拡大	2.47
43	34. 身近な生活道路の整備	2.47
44	2. 地域コミュニティ活動への支援	2.46
45	42. 地域に密着した福祉サービス	2.45
46	17. 自然に親しめるレクリエーション施設などの整備	2.45
47	67. 防災体制の整備	2.45
48	61. 子どもの基本的な食生活習慣の育成	2.43
49	63. 防災意識の向上	2.43
50	62. 地域における食育活動の推進	2.43
51	26. 農業体験など農業とのふれあい	2.43
52	64. 自主防災組織の育成	2.41
53	98. 大学などでの高度な専門的な学習機会の充実	2.40
54	22. 大気汚染防止対策の推進	2.39
55	58. 救急医療体制の充実	2.38

上位
10
項目

順位	取り組み	満足度
56	57. 医療体制・施設の充実	2.38
57	70. 歩道・ガードレール設置等の交通安全対策	2.37
58	80. 観光情報の発信	2.37
59	33. 計画的で良好な市街地整備	2.37
60	68. 建築物の災害に対する安全性の向上	2.36
61	48. 高齢者の介護予防・健康づくり	2.36
62	10. 行政の情報公開	2.36
63	85. 地場産業の育成・振興	2.36
64	25. 農地の保全	2.36
65	46. 障害者の福祉サービス	2.35
66	15. 地域の特色を活かした施策の推進	2.35
67	50. 子育て相談や地域での子育て支援	2.35
68	43. 地域主体の支え合い活動の推進	2.35
69	14. 合併した旧町の均衡ある発展	2.34
70	12. 行政（市長）と市民との対話	2.33
71	59. 感染症などの健康危機管理体制の確立	2.32
72	73. 動物の愛護と適正な管理	2.32
73	13. 地域に密着した行政サービス	2.31
74	28. 大規模量販店等の立地の規制誘導	2.30
75	51. 保育サービスの充実	2.30
76	47. 高齢者の介護サービス	2.29
77	79. 観光産業の育成・支援	2.27
78	27. 無秩序な宅地化の拡大防止	2.26
79	96. 地域での子ども居場所づくり	2.26
80	4. 市民・行政との協働事業の推進	2.25
81	78. 観光資源を活かした観光拠点整備	2.24
82	77. 適切な森林育成管理、林業の振興	2.23
83	44. 障害者の就労支援や社会参加	2.22
84	30. 中心市街地の居住環境の改善と居住の創出	2.21
85	45. 精神保健及び精神障害者福祉の充実	2.21
86	49. 高齢者の就労支援や生きがい対策	2.21
87	8. 歳入の確保	2.21
88	76. 農林水産業の担い手の育成	2.21
89	35. 路線バスや市内循環バスなどの公共交通の整備	2.17
90	18. 省エネルギーや新エネルギー利用の推進	2.17
91	6. 行政職員のモラル・資質の向上	2.16
92	37. 高齢者や障害者を思いやる「心のバリアフリー」の促進	2.14
93	7. 行財政の健全化	2.13
94	36. 高齢者などが移動しやすい環境の整備（バリアフリー）	2.13
95	52. 児童虐待防止	2.12
96	9. 歳入の削減	2.12
97	5. 行政事務の効率化、行政改革	2.09
98	84. 起業支援、ベンチャー企業の育成	2.09
99	20. 廃棄物の不法投棄の防止・監視・指導	2.06
100	83. 工業の育成・支援	2.06
101	82. 商業の振興・支援	2.04
102	53. 健康保険や年金の充実	2.02
103	29. にぎわいある中心市街地の整備	1.95
104	87. 高速道路や国道、県道など幹線道路の整備	1.94
105	54. 生活保護の適正実施	1.91
106	81. 既存商店街の整備・活性化	1.90
107	89. 就労支援、職業能力開発・向上の支援	1.84
108	91. 企業誘致の推進	1.82
109	88. 就労環境の向上	1.74
110	90. 雇用機会の創出	1.69

平均値
2.38

下位
10
項目

満足度の点数化

「満足している」＝4点、「やや満足している」＝3点

「やや不満である」＝2点、「不満である」＝1点、「わからない」＝0点、「無回答」＝0点

として求めた回答者の平均得点を表した満足度指数を算出

④今後の重要度

重要度では「安全な水道水の供給」が最も高くなっている。

アンケート回答者全体でみた宮崎市のまちづくりの取り組みの現状について、「重要である」とする割合の高い取り組み上位は次の通りです。

- ・ 38. 安全な水道水の供給 (70.8%)
- ・ 58. 救急医療体制の充実 (68.7%)
- ・ 53. 健康保険や年金の充実 (67.6%)

また、「重要である」+「やや重要である」の割合は、「姉妹（友好）都市との交流」を除く109項目全てにおいて過半数を超えており、その割合が高い取り組み上位は次の通りです。

- ・ 19. ゴミの減量化やリサイクル (89.4%)
- ・ 20. 廃棄物の不法投棄の防止・監視・指導 (88.0%)
- ・ 21. 生活排水、産業排水などの排水処理 (87.8%)

対して「重要でない」とする割合の高い取り組み上位は次の通りです。

- ・ 109. 海外の姉妹（友好）都市との交流 (8.1%)
- ・ 110. 外国人が暮らしやすいまちづくり (5.7%)
- ・ 17. 自然に親しめるレクリエーション施設などの整備 (5.0%)

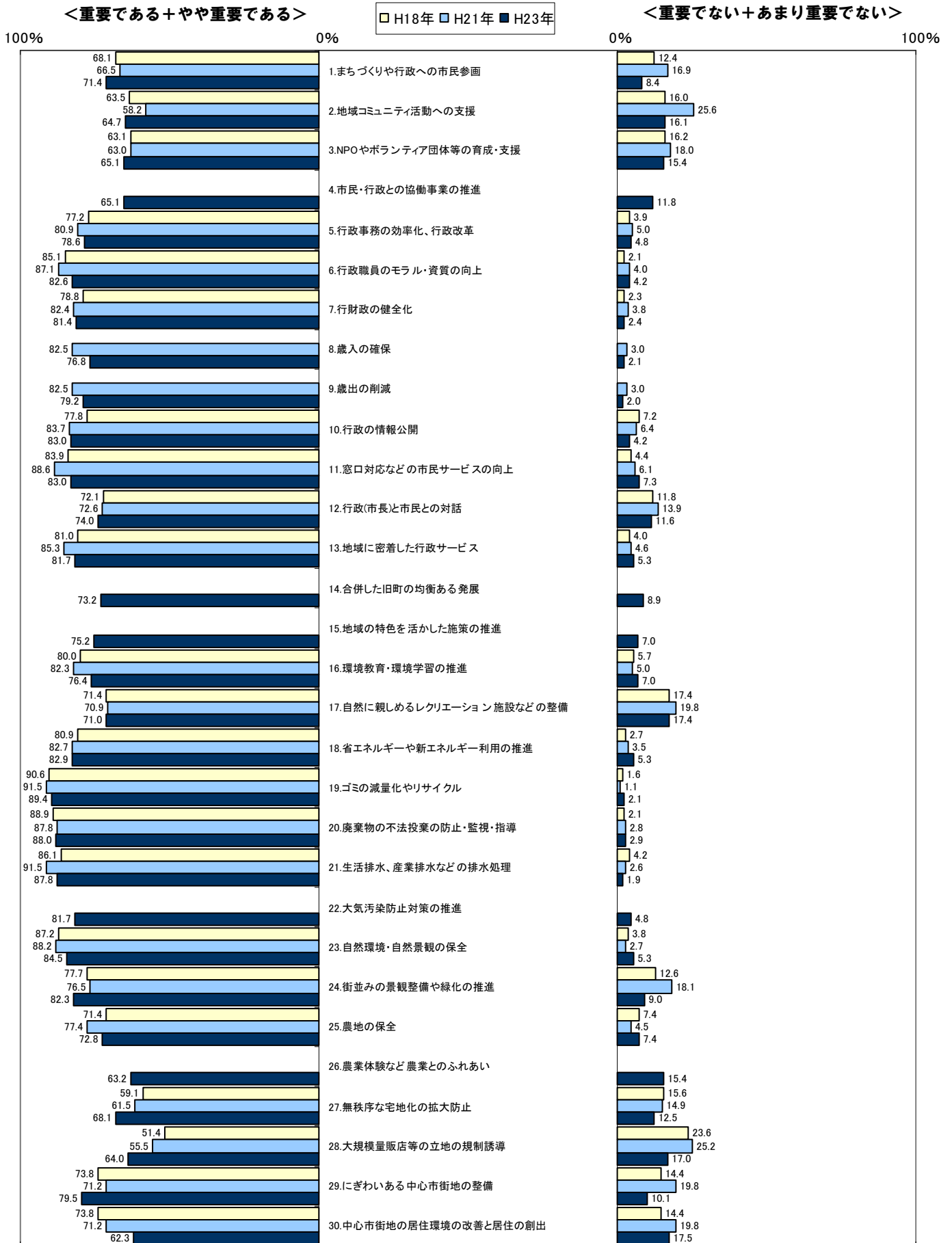
また、「重要でない」+「あまり重要でない」の割合が高い取り組み上位は次の通りです。

- ・ 109. 海外の姉妹（友好）都市との交流 (27.4%)
- ・ 110. 外国人が暮らしやすいまちづくり (21.0%)
- ・ 31. 公営住宅の整備 (20.2%)

さらに、施策分野別でみた「重要である」+「やや重要である」の割合の最も高い取り組みは次の通りです。

[市民が主体の住民自治のまち]	1. まちづくりや行政への市民参画(71.4%)
[効率的で信頼される行政経営]	10. 行政の情報公開(83.0%)
	11. 窓口対応などの市民サービスの向上(83.0%)
[自然環境や景観を大切にしているまち]	19. ゴミの減量化やリサイクル(89.4%)
[都市の機能が充実しているまち]	29. にぎわいある中心市街地の整備(79.5%)
[生活を支える基盤が整っているまち]	38. 安全な水道水の供給(87.4%)
[ともに支え合って暮らしているまち]	53. 健康保険や年金の充実(87.4%)
[健康に暮らせるまち]	58. 救急医療体制の充実(86.3%)
[災害に強いまち]	66. 救急・救助・救命体制(85.1%)
[生活の安全が守られているまち]	69. 子どもの見守り・防犯対策(84.5%)
[宮崎の特色を活かした産業のあるまち]	74. 安全・安心な農林水産物の供給(82.7%)
[活力ある商工業が育つまち]	87. 高速道路や国道、県道など幹線道路の整備(85.9%)
[働きやすく働きがいのあるまち]	88. 就労環境の向上(86.3%)
[未来を担う人を育てるまち]	92. 小中学校教育の充実・整備(83.5%)
[生きがいを持って学び楽しめるまち]	101. 地域の祭りなど伝統文化の継承(77.3%)
[思いやりのあるまち]	104. 人権尊重のための人権教育・啓発活動(69.7%)

⑤平成 18 年調査～平成 23 年調査における重要度の経年変化



<重要である+やや重要である>

□ H18年 □ H21年 ■ H23年

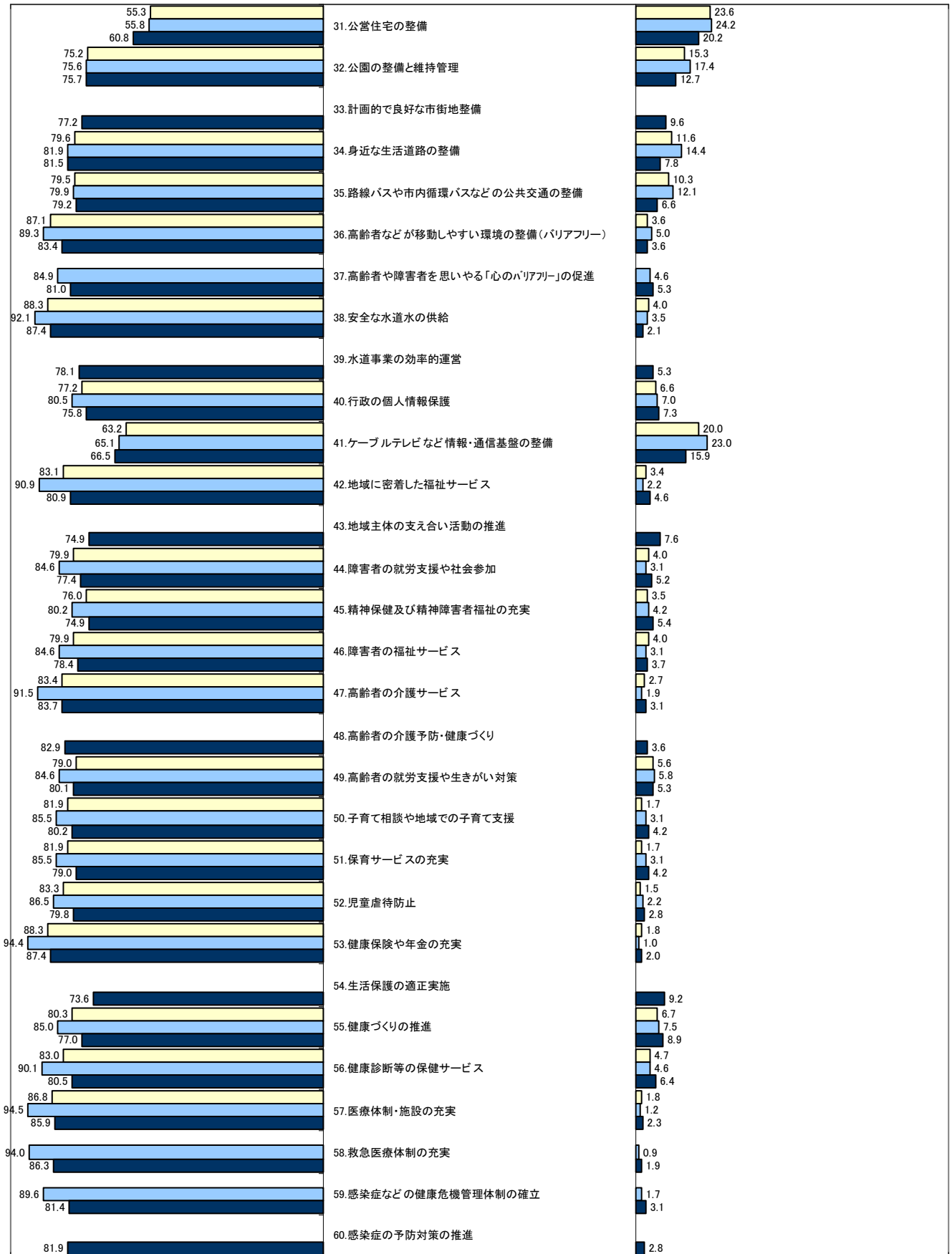
<重要でない+あまり重要でない>

100%

0%

0%

100%



<重要である+やや重要である>

□ H18年 □ H21年 ■ H23年

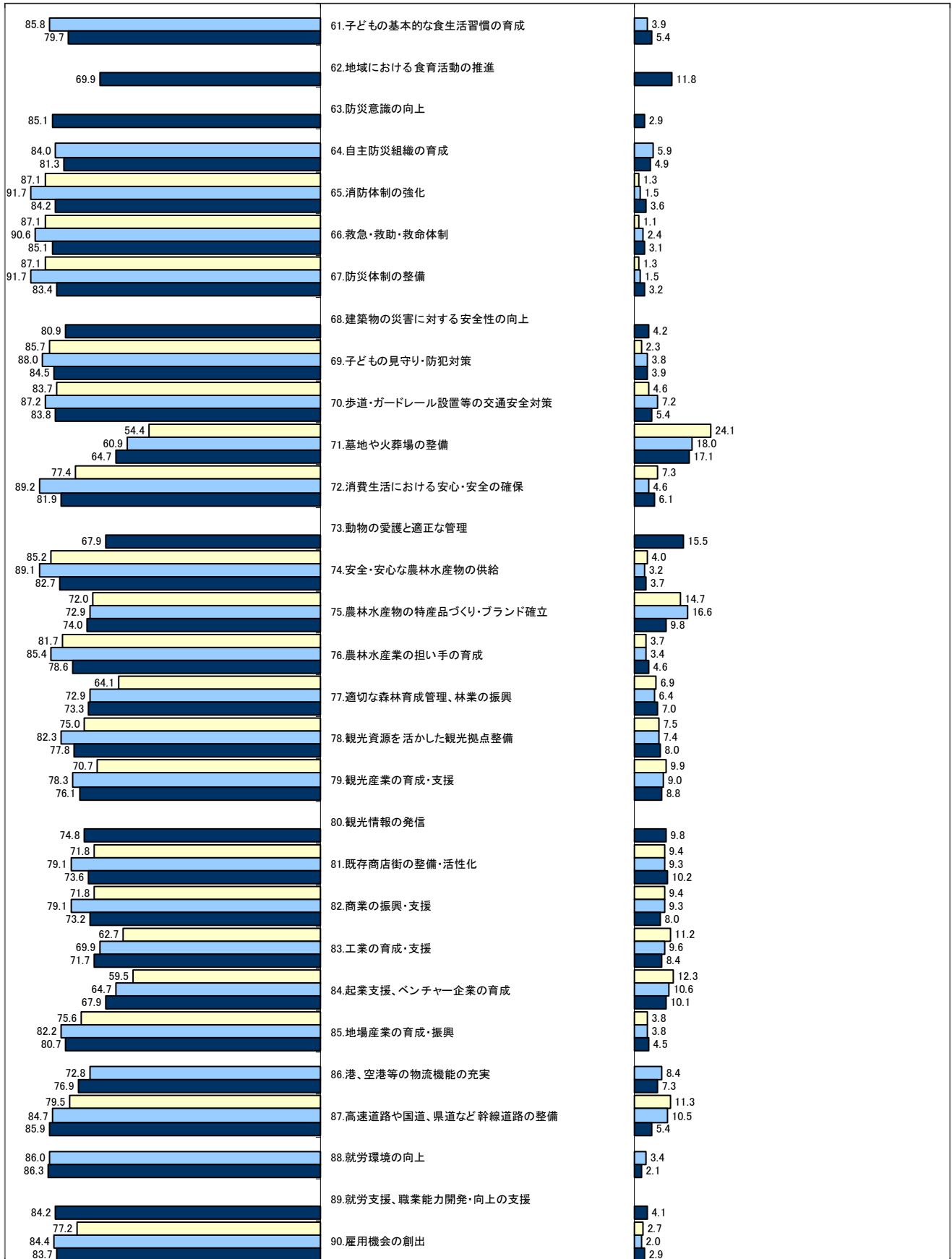
<重要でない+あまり重要でない>

100%

0%

0%

100%



<重要である+やや重要である>

100%

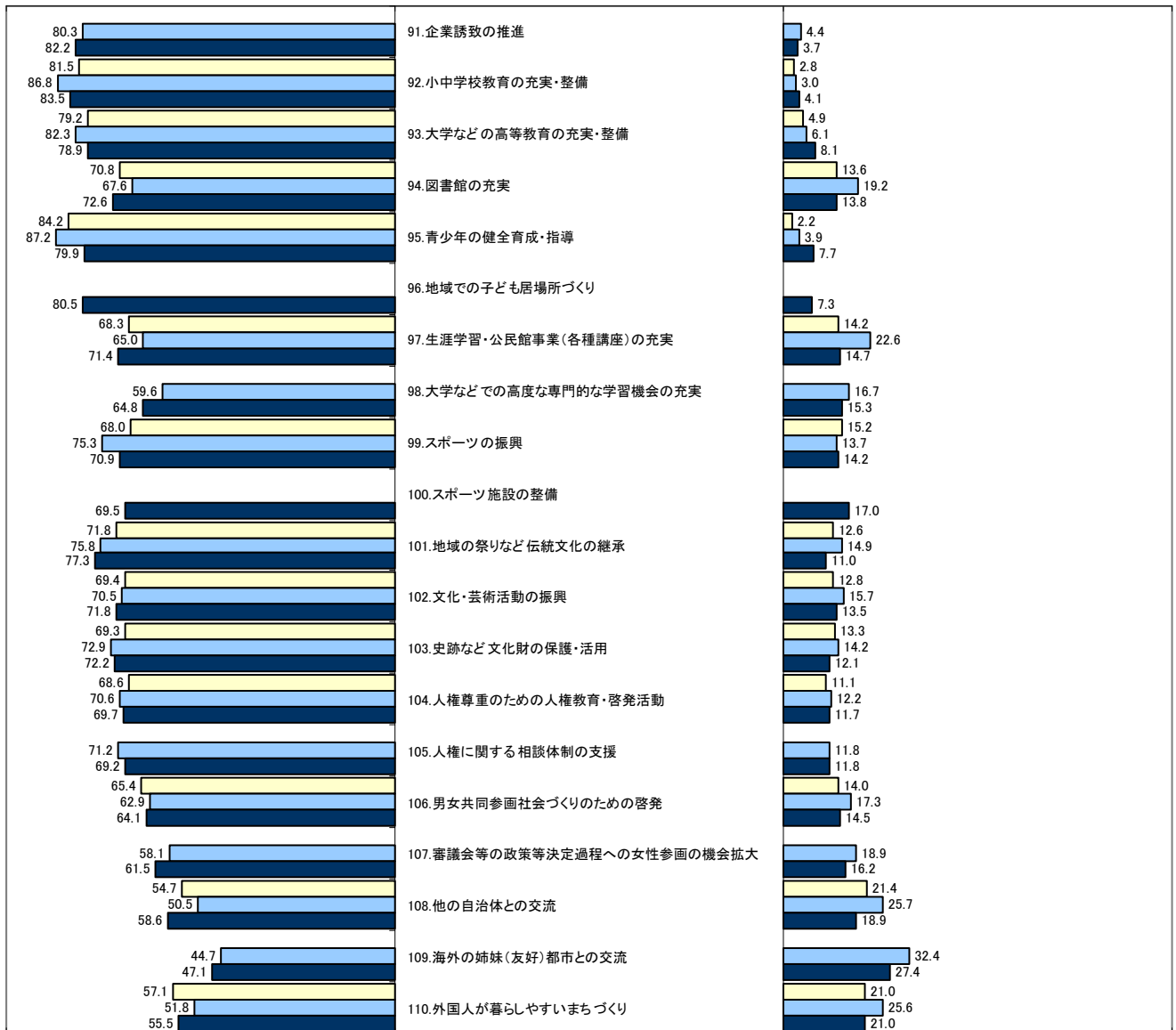
0%

□ H18年 □ H21年 ■ H23年

<重要でない+あまり重要でない>

0%

100%



⑥重要度の点数化

重要度を点数化した順位は次の通りであり、重要度の高い取り組み上位及びその重要度は次の通りです。

- ・ 38. 安全な水道水の供給 (3.76)
- ・ 58. 救急医療体制の充実 (3.75)
- ・ 53. 健康保険や年金の充実 (3.73)

また、重要度の低い取り組み下位及びその重要度は次のとおりです。

- ・ 109. 海外の姉妹（友好）都市との交流 (2.71)
- ・ 110. 外国人が暮らしやすいまちづくり (2.91)
- ・ 31. 公営住宅の整備 (2.97)

健康福祉の充実に関する項目では、重要度が高くなっている一方で、交流に関する項目では重要度が低くなっています。

順位	取り組み	重要度
1	38. 安全な水道水の供給	3.76
2	58. 救急医療体制の充実	3.75
3	53. 健康保険や年金の充実	3.73
4	7. 行財政の健全化	3.69
5	57. 医療体制・施設の充実	3.69
6	52. 児童虐待防止	3.68
7	9. 歳出の削減	3.68
8	66. 救急・救助・救命体制	3.67
9	88. 就労環境の向上	3.66
10	59. 感染症などの健康危機管理体制の確立	3.66
11	8. 歳入の確保	3.66
12	19. 雇用機会の創出	3.65
13	67. 防災体制の整備	3.64
14	63. 防災意識の向上	3.64
15	19. ゴミの減量化やリサイクル	3.62
16	20. 廃棄物の不法投棄の防止・監視・指導	3.62
17	87. 高速道路や国道、県道など幹線道路の整備	3.61
18	21. 生活排水、産業排水などの排水処理	3.61
19	74. 安全・安心な農林水産物の供給	3.61
20	91. 企業誘致の推進	3.60
21	6. 行政職員のモラル・資質の向上	3.60
22	60. 感染症の予防対策の推進	3.60
23	65. 消防体制の強化	3.60
24	89. 就労支援、職業能力開発・向上の支援	3.60
25	92. 小中学校教育の充実・整備	3.59
26	69. 子どもの見守り・防犯対策	3.58
27	18. 省エネルギーや新エネルギー利用の推進	3.57
28	47. 高齢者の介護サービス	3.57
29	22. 大気汚染防止対策の推進	3.57
30	5. 行政事務の効率化、行政改革	3.54
31	70. 歩道・ガードレール設置等の交通安全対策	3.54
32	68. 建築物の災害に対する安全性の向上	3.54
33	39. 水道事業の効率的運営	3.54
34	64. 自主防災組織の育成	3.53
35	51. 保育サービスの充実	3.53
36	40. 行政の個人情報保護	3.52
37	76. 農林水産物の担い手の育成	3.52
38	10. 行政の情報公開	3.52
39	36. 高齢者などが移動しやすい環境の整備（バリアフリー）	3.52
40	48. 高齢者の介護予防・健康づくり	3.51
41	23. 自然環境・自然景観の保全	3.51
42	37. 高齢者や障害者を思いやる「心のバリアフリー」の促進	3.50
43	50. 子育て相談や地域での子育て支援	3.50
44	72. 消費生活における安心・安全の確保	3.50
45	46. 障害者の福祉サービス	3.48
46	42. 地域に密着した福祉サービス	3.47
47	11. 窓口対応などの市民サービスの向上	3.47
48	61. 子どもの基本的な食生活習慣の育成	3.46
49	13. 地域に密着した行政サービス	3.44
50	95. 青少年の健全育成・指導	3.44
51	49. 高齢者の就労支援や生きがい対策	3.44
52	96. 地域での子ども居場所づくり	3.43
53	85. 地場産業の育成・振興	3.43
54	56. 健康診断等の保健サービス	3.42
55	44. 障害者の就労支援や社会参加	3.42

上位
10
項目

順位	取り組み	重要度
56	25. 農地の保全	3.42
57	93. 大学などの高等教育の充実・整備	3.41
58	45. 精神保健及び精神障害者福祉の充実	3.41
59	54. 生活保護の適正実施	3.40
60	35. 路線バスや市内循環バスなどの公共交通の整備	3.40
61	86. 港、空港等の物流機能の充実	3.39
62	34. 身近な生活道路の整備	3.39
63	15. 地域の特色を活かした施策の推進	3.39
64	29. にぎわいある中心市街地の整備	3.37
65	77. 適切な森林育成管理、林業の振興	3.37
66	78. 観光資源を活かした観光拠点整備	3.37
67	24. 街並みの景観整備や緑化の推進	3.37
68	16. 環境教育・環境学習の推進	3.36
69	43. 地域主体の支え合い活動の推進	3.35
70	14. 合併した旧町の均衡ある発展	3.34
71	83. 工業の育成・支援	3.33
72	79. 観光産業の育成・支援	3.33
73	81. 既存商店街の整備・活性化	3.32
74	75. 農林水産物の特産品づくり・ブランド確立	3.32
75	33. 計画的で良好な市街地整備	3.31
76	82. 商業の振興・支援	3.31
77	55. 健康づくりの推進	3.30
78	1. まちづくりや行政への市民参画	3.30
79	84. 起業支援、ベンチャー企業の育成	3.29
80	80. 観光情報の発信	3.29
81	12. 行政（市長）と市民との対話	3.27
82	62. 地域における食育活動の推進	3.26
83	104. 人権尊重のための人権教育・啓発活動	3.23
84	105. 人権に関する相談体制の支援	3.23
85	101. 地域の祭りなど伝統文化の継承	3.22
86	27. 無秩序な宅地化の拡大防止	3.21
87	94. 図書館の充実	3.21
88	32. 公園の整備と維持管理	3.18
89	4. 市民・行政との協働事業の推進	3.17
90	98. 大学などでの高度な専門的な学習機会の充実	3.16
91	103. 史跡など文化財の保護・活用	3.16
92	97. 生涯学習・公民館事業（各種講座）の充実	3.15
93	73. 動物の愛護と適正な管理	3.14
94	99. スポーツの振興	3.14
95	41. ケーブルテレビなど情報・通信基盤の整備	3.13
96	102. 文化・芸術活動の振興	3.13
97	26. 農業体験など農業とのふれあい	3.11
98	17. 自然に親しめるレクリエーション施設などの整備	3.11
99	100. スポーツ施設の整備	3.10
100	106. 男女共同参画社会づくりのための啓発	3.10
101	30. 中心市街地の居住環境の改善と居住の創出	3.09
102	3. NPOやボランティア団体等の育成・支援	3.09
103	2. 地域コミュニティ活動への支援	3.09
104	71. 墓地や火葬場の整備	3.08
105	107. 審議会等の政策等決定過程への女性参画の機会拡大	3.07
106	28. 大規模量販店等の立地の規制誘導	3.07
107	108. 他の自治体との交流	2.97
108	31. 公営住宅の整備	2.97
109	110. 外国人が暮らしやすいまちづくり	2.91
110	109. 海外の姉妹（友好）都市との交流	2.71

平均値
3.40

下位
10
項目

重要度の点数化

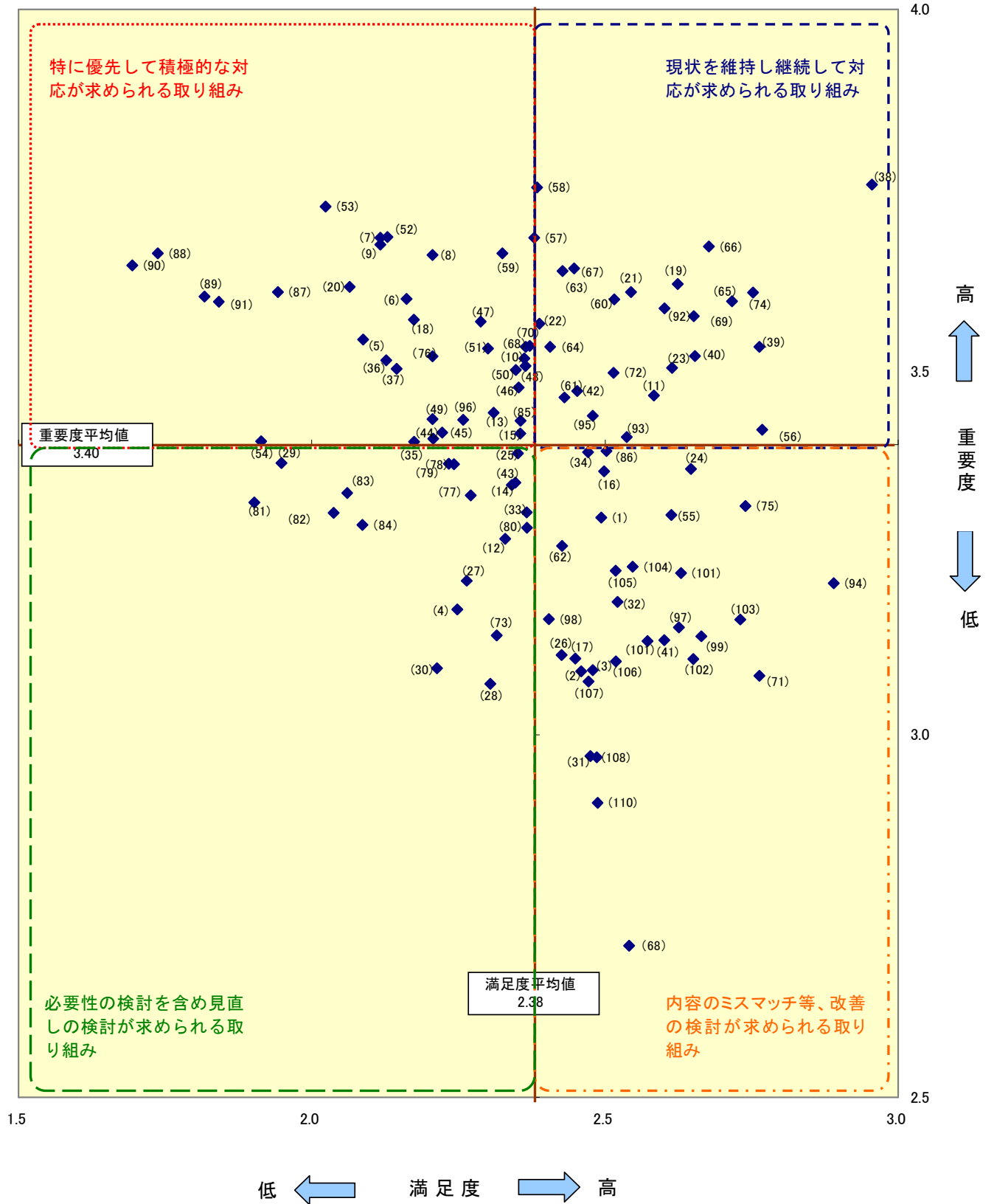
「重要である」＝4点、「やや重要である」＝3点

「あまり重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点、「わからない」＝0点、「無回答」＝0点

として求めた回答者の平均得点を表した重要度指数を算出

取り組みの満足度と重要度の位置関係による評価分析（ポートフォリオ分析）

[全体 1~110]



《設問項目》

1. まちづくりや行政への市民参画	56. 健康診断等の保健サービス
2. 地域コミュニティ活動への支援	57. 医療体制・施設の充実
3. NPOやボランティア団体等の育成・支援	58. 救急医療体制の充実
4. 市民・行政との協働事業の推進	59. 感染症などの健康危機管理体制の確立
5. 行政事務の効率化、行政改革	60. 感染症の予防対策の推進
6. 行政職員のモラル・資質の向上	61. 子どもの基本的な食生活習慣の育成
7. 行財政の健全化	62. 地域における食育活動の推進
8. 歳入の確保	63. 防災意識の向上
9. 歳出の削減	64. 自主防災組織の育成
10. 行政の情報公開	65. 消防体制の強化
11. 窓口対応などの市民サービスの向上	66. 救急・救助・救命体制
12. 行政(市長)と市民との対話	67. 防災体制の整備
13. 地域に密着した行政サービス	68. 建築物の災害に対する安全性の向上
14. 合併した旧町の均衡ある発展	69. 子どもの見守り・防犯対策
15. 地域の特色を活かした施策の推進	70. 歩道・ガードレール設置等の交通安全対策
16. 環境教育・環境学習の推進	71. 墓地や火葬場の整備
17. 自然に親しめるレクリエーション施設などの整備	72. 消費生活における安心・安全の確保
18. 省エネルギーや新エネルギー利用の推進	73. 動物の愛護と適正な管理
19. ゴミの減量化やリサイクル	74. 安全・安心な農林水産物の供給
20. 廃棄物の不法投棄の防止・監視・指導	75. 農林水産物の特産品づくり・ブランド確立
21. 生活排水、産業排水などの排水処理	76. 農林水産業の担い手の育成
22. 大気汚染防止対策の推進	77. 適切な森林育成管理、林業の振興
23. 自然環境・自然景観の保全	78. 観光資源を活かした観光拠点整備
24. 街並みの景観整備や緑化の推進	79. 観光産業の育成・支援
25. 農地の保全	80. 観光情報の発信
26. 農業体験など農業とのふれあい	81. 既存商店街の整備・活性化
27. 無秩序な宅地化の拡大防止	82. 商業の振興・支援
28. 大規模量販店等の立地の規制誘導	83. 工業の育成・支援
29. にぎわいある中心市街地の整備	84. 起業支援、ベンチャー企業の育成
30. 中心市街地の居住環境の改善と居住の創出	85. 地場産業の育成・振興
31. 公営住宅の整備	86. 港、空港等の物流機能の充実
32. 公園の整備と維持管理	87. 高速道路や国道、県道など幹線道路の整備
33. 計画的で良好な市街地整備	88. 就労環境の向上
34. 身近な生活道路の整備	89. 就労支援、職業能力開発・向上の支援
35. 路線バスや市内循環バスなどの公共交通の整備	90. 雇用機会の創出
36. 高齢者などが移動しやすい環境の整備(バリアフリー)	91. 企業誘致の推進
37. 高齢者や障害者を思いやる「心のバリアフリー」の促進	92. 小中学校教育の充実・整備
38. 安全な水道水の供給	93. 大学などの高等教育の充実・整備
39. 水道事業の効率的運営	94. 図書館の充実
40. 行政の個人情報保護	95. 青少年の健全育成・指導
41. ケーブルテレビなど情報・通信基盤の整備	96. 地域での子ども居場所づくり
42. 地域に密着した福祉サービス	97. 生涯学習・公民館事業(各種講座)の充実
43. 地域主体の支え合い活動の推進	98. 大学などでの高度な専門的な学習機会の充実
44. 障害者の就労支援や社会参加	99. スポーツの振興
45. 精神保健及び精神障害者福祉の充実	100. スポーツ施設の整備
46. 障害者の福祉サービス	101. 地域の祭りなど伝統文化の継承
47. 高齢者の介護サービス	102. 文化・芸術活動の振興
48. 高齢者の介護予防・健康づくり	103. 史跡など文化財の保護・活用
49. 高齢者の就労支援や生きがい対策	104. 人権尊重のための人権教育・啓発活動
50. 子育て相談や地域での子育て支援	105. 人権に関する相談体制の支援
51. 保育サービスの充実	106. 男女共同参画社会づくりのための啓発
52. 児童虐待防止	107. 審議会等の政策等決定過程への女性参画の機会拡大
53. 健康保険や年金の充実	108. 他の自治体との交流
54. 生活保護の適正実施	109. 海外の姉妹(友好)都市との交流
55. 健康づくりの推進	110. 外国人が暮らしやすいまちづくり

宮崎市がめざすまちづくりについておたずねします

(5) 市民が感じるまちづくりの進捗度

①進捗度

まちづくりが進んでいると市民が最も感じているのは、「自然環境や景観を大切にしているまち」であり、次いで「健康に暮らせるまち」となっている。

宮崎市が目指すまちづくりについて、「感じられる」とする割合が最も高いのは『自然環境や景観を大切にしているまち』（16.5%）で、約1割を超えるにとどまっており、以下『健康に暮らせるまち』（13.9%）、『思いやりのあるまち』（11.3%）と続いています。

また「感じられる」+「どちらかといえば感じられる」の割合が過半数を超えているものは、

- ・自然環境や景観を大切にしているまち（64.7%）
- ・健康に暮らせるまち（61.8%）
- ・思いやりのあるまち（54.6%）

となっています。

問5. 宮崎市で「総合計画」の重点目標として掲げ、積極的に取り組んでいる以下のまちづくりについて、着実に進んでいると感じられるものは。（1つに○）

